

2019年7月12日

各 位

会 社 名 株式会社リミックスポイント
代表者名 代表取締役社長 CEO 小田 玄紀
(コード番号：3825)
問合せ先 取締役 CFO 廣瀬 卓也
(TEL：03-6303-0280)

当社子会社における仮想通貨の不正流出に関するお知らせとお詫び（第一報）

当社子会社で仮想通貨交換業を営む株式会社ビットポイントジャパン（本社：東京都港区、代表取締役小田玄紀、以下「BPJ」といいます。）の仮想通貨交換所における仮想通貨の不正な流出が判明いたしました。

現在、新規口座開設を含む BPJ のサービスを全面的に停止するとともに、原因の究明、流出額の特定、被害の最小化等の対策を鋭意行っております。詳細が判明次第、速やかに公表する予定であります。なお、お客様からの預かり資産に被害が生じないように、BPJ において補償するなど、責任をもって対応する方針であります。

本件により、BPJ のサービスをご利用のお客様、また、当社株主の皆様をはじめ関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

記

1. 不正な資産流出の状況

2019年7月11日夜、BPJの仮想通貨取引システムにおいて、仮想通貨の送金に関するエラーが検出され、調査の結果、BPJの管理するホットウォレットに保管している仮想通貨の不正流出が判明いたしました。

BPJでは、仮想通貨の取引を円滑に実施するため、一部の仮想通貨をホットウォレットで管理しております。今回の不正流出は、当該ホットウォレットからのものであり、コールドウォレットで管理している仮想通貨ならびに法定通貨につきましても、流出は確認されておりません。

今回の不正な流出の対象となった仮想通貨の数量、流出額については詳細を調査中ではありますが、流出額は概算で約35億円（うち、お客様からの預かり分約25億円、BPJ保有分約10億円）（換算レートは2019年7月11日16時時点の価格）と、現時点では見込んでおります。なお、詳細が判明次第、速やかに公表いたします。

なお、BPJがホットウォレットで管理している仮想通貨は、ビットコイン、ビットコインキャッシュ、イーサリアム、ライトコイン、リップルの5銘柄であります。

2. 経緯

今回発生した事実とその対応につきましては、以下のとおりであります。

2019年7月11日	22時12分頃	リップルの送金に関するエラーを検知。 BPJの情報システム部門等に対応開始。
	22時39分頃	リップルの不正な流出を確認。 他の仮想通貨の流出の有無の調査を開始。
2019年7月12日	2時00分頃	リップル以外の仮想通貨についても不正流出を確認。
	3時00分	BPJにて緊急会議を実施。
	6時30分	BPJにおける仮想通貨の送受金を停止。
	10時30分	仮想通貨の売買・交換を含む、BPJの全サービスを停止。

3. 今後の対応、業績に与える影響の見通し

今回の不正流出にかかる損害額、当社の連結業績に与える影響については、現在、精査しており、詳細が判明次第、速やかにお知らせいたします。

また、BPJはじめ当社グループでは、このたびの事態を厳粛に受け止めるとともに、原因の究明と再発防止策の実施を速やかに行い、BPJのお客様、当社株主をはじめとするステークホルダーの方々からの信用回復に努めてまいります。

以上